

らぶらす

ライブラリーニュース Vol.26



衣食住、暮らしのなかから

らぶらすの資料コーナー（ライブラリー）には、衣食住など暮らしに関わる身近なことがらをテーマにした図書資料が多数あります。男女共同参画の視点から集められた約1万9千冊のなかで、食に関連する図書資料は、約300冊。何を食べるか、どうしてその服を着るのか、他人と暮らす住まい方など、当たり前とされていることをこれまでとは少し違う視点からみる際の参考になります。レシピ本やエッセイ、小説だけでなく、『大統領の料理人』などのDVD、『おいしくたべる』などの絵本もあります。

今号は、衣食住や暮らしに関連する図書資料を紹介しています。お目当ての本がらぶらすライブラリーの中にあるか、貸出中かどうかなど、Webではらぶらすホームページから、館内ではタッチパネルを利用して検索できます。タイトルやキーワードから検索してみてください。

『勝間式食事ハック』

勝間 和代 著
宝島社



数あるライフハック（人生術）のうち著者が最も重視する「食事」。食に関するリテラシーを高め、最新テクノロジーを使いこなすことで人生が変わる。「調味料はいいものを使ってくれ」「蒸し」など、マーカー部分だけでも、読ませる。

『ウマし』

伊藤 比呂美 著
中央公論新社



世田谷のうなぎ、熊本のココボン、カリフォルニアのカレーなど、食べ物にまつわるエッセイ52編。食べ物とは、もしかしたら自分自身のことか——という詩人の感性が、ウマし、ニガし、マズし、なつかし、と食べ物を語り続ける。

『もうレシピ本はいらない』

稲垣 えみ子 著
マガジンハウス



人生を救う最強の食卓』

「めし、しる」のために冷蔵庫・炊飯器は不要、鍋1個・包丁1本あれば、最高の食卓が10分で完成する。「失敗する自由を取り戻せ」「作れないものは作らないという自由」など、人生における料理を「自由」の観点とともに綴る。

[衣食住、暮らしに関連する図書・資料]



『990円のジーンズがつくれるのはなぜ？
ファストファッションの工場で起こっていること』
長田 華子 著
合同出版



『いま、働く女子がやっておくべき
お金のこと』
中村 芳子 著
青春出版社



『おひとりさまのゆたかな
年収200万生活』
おづまりこ 著
KADOKAWA



『これが、コレクティブハウスだ！
コレクティブハウスかんかん森の12年』
コレクティブハウスかんかん森
居住者組合森の風 編
ドメス出版

利用案内

らぶらす資料コーナー（ライブラリー）へようこそ！

- ◆らぶらす資料コーナーでは、およそ1万9千点の書籍やDVD、行政資料などを所蔵しています。
- ◆運転免許証や健康保険証など、住所とお名前の確認できる書類をお持ちいただければ、その場で利用登録ができます。◆1回につき3点まで、2週間の貸出が可能です（AV資料1週間まで）。
- ◆貸出中の場合は予約ができます。◆らぶらすのホームページから図書・資料が検索可能です。

らぶらす開館時間 9:00-22:00

図書貸出時間 9:00-21:30

休館日：毎月第3月曜日（祝日の場合はその翌日）及び年末年始





『フェミニスト・ファイト・クラブ
「職場の女性差別」サバイバルマニュアル』

ジェシカ・ベネット 著／岩田 佳代子 訳
海と月社

ニューヨークで実在する女性による女性のための「フェミニスト・ファイト・クラブ」。メンバーが満を持して公開したこの本には、職場で横行する性差別との向き合い方や戦い方が書かれているだけでなく、みんなで力を合わせて、あらゆる不正と戦う方法も書かれている。彼女たちの知恵とユーモアをたっぷり楽しめる一冊。

女たち
男たち



『説教したがる男たち』

レベッカ・ソルニット 著
左右社



『#黙らない女たち
インターネット上のヘイトスピーチ・
複合差別と裁判で闘う』

李 信恵／上瀬 浩子 著
かもがわ出版

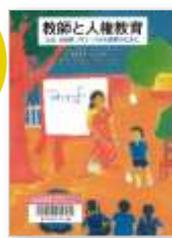


『学校に行きたくない君へ
大先輩たちが語る生き方のヒント。』

全国不登校新聞社 編
ポプラ社

不登校の当事者、経験者がインタビュアーになり、当事者参加型の新聞「全国不登校新聞」が企画から取材までを責任編集。樹木希林、荒木飛呂彦、柴田元幸、リリー・フランキー、雨宮処凛、西原理恵子、田口トモロヲなど、不登校を経験しつつも生き抜いてきた20名の大先輩たちから引き出した本音のメッセージが胸にしみる。

学校
教育



『教師と人権教育
公正、多様性、グローバルな
連帯のために』

オードリー・オスラーほか 著
明石書店



『性教育はどうして
必要なんだろう?』

浅井 春夫ほか 編著
大月書店



『LGBTと家族のコトバ』

LGBTER 著
双葉社

LGBTに関するインタビューメディアサイト「LGBTER」の取材に応えた、LGBT当事者とその家族15人の言葉を集めた本。LGBTの当事者が13人に1人とされている現在でも、悩みや辛さを実際に耳にする機会が多いとは言えない。当事者とその家族たちのリアルな声は、家族の数だけ家族のかたちがあることを教えてくれる。

LGBT



『ケーススタディ
職場のLGBT』

寺原 真希子／
東京表参道法律事務所 編
ぎょうせい



『カミングアウト
LGBTの社員とその同僚に
贈るメッセージ』

ジョン・ブラウン 著
英治出版

絵本

『わたしたちだけのときは』

デイヴィッド・アレクサンダー・ロバートソン 文／
ジュリー・フレット 絵／横山 和江 訳
岩波書店



カナダ・クリー族のおばあちゃんは幼い頃、政府の同化政策によって遠くの学校に通わされ、髪を切られ、制服を着せられ、母語を禁止された。孫の素朴な問いに、「わたしたちだけのときは」に試みた小さな抵抗の物語が語られる。

コミックス

『わたし、39歳で「閉経」って
いわれました』

たがはしみき 著
主婦と生活社



晩婚、非婚、高齢出産と女性にとって多様な生き方がある現代。早期閉経と診断された著者が、女性を悩ませる不調に効果的な対処法を紹介する。冷え性対策など、すぐできて続けやすいものばかり。幅広い年齢で活用できる。

DVD

『ジェイン・オースティンの読書会』

ロビン・スウィコード 監督
2007年 アメリカ



さまざまな年齢や状況の5人の女性と、1人の青年が集う読書会。1冊ずつ作家ジェイン・オースティンの作品を読み進める間に、6人の身に起こる人間模様が描かれる。面白くもあり、退屈でもある人生は、思わぬ方向に動いていく。



らぶらすHP



Facebook



Twitter